

BRICS の貿易 (ITI 財別国際貿易マトリックス 2005 年版より)

ブラジル(B)、ロシア(R)、インド(I)、中国(C)が注目を集め、国名の頭文字をとり BRICs と呼ばれている。南アフリカ(S)を加え BRICS と呼ぶこともある。周辺国から見ると人口が多い、経済成長率が高い等から、「巨大な消費市場」になり、有望な「直接投資先」、「貿易相手先」として期待されている。

2004年のBRICS 5カ国の輸出額合計は9487億ドルで、世界貿易額(8兆8922億ドル)の10.7%を占めている。5年前の94年時点は7.6%だった。その間に中国が3.0倍増になったのを最高に、南アフリカを除く4カ国は2倍を超える増加を示し、世界貿易の増加(1.6倍増)を超える伸びとなっている。

また、BRICS 5カ国の輸入額合計(7955億ドル)が世界貿易に占める割合は、2004年が8.9%で、1999年の5.5%から3.3%ポイント上昇している。その間の世界貿易全体の増加に比べると、BRICS 全体では2.6倍増と高く、ブラジルを除く4カ国が2倍以上になっている。なお、中国

の貿易額が BRICS 全体の貿易額に占める割合は、輸出入ともに6割を超えている。

BRICS 5カ国間の貿易(域内貿易)も世界貿易の伸びの2倍以上に拡大している。2004年の域内貿易は約480億ドルで、世界貿易額に占める割合は0.6%である。ただし、5年前の1999年は約130億ドルで、5年間に約3.8倍に増加している。

BRICS間の二国間貿易額を金額が大きい順にならべると、上位は中国との取引で占め、中国との取引増加がBRICS間の貿易を拡大させている。

表：BRICS間の二国間貿易(上位)～2004年

順位	輸出国	輸入国	金額 (億ドル)
1	中国	ロシア	91
2	ロシア	中国	8.2
3	中国	インド	59
4	ブラジル	中国	54
5	中国	ブラジル	37
6	中国	南アフリカ	30

出所 「BRICSの貿易」(2005年版)

(増田)